39

郷の集い

新郷校愛護会文芸部発行
編集責任者
小西　誠
印刷所　久野印刷所

優良校視察に参加して

副会長　村田勘治

年度始めに役員会にて計画された母親学級を主体とする優良校視察は秋日和のよい天気に恵まれた十一月一日行なった。

私も参加者の一人として視察に参加した。視察先は二、三年石川県方面に行くので今年は県内の優良な勝山成器南小学校を視察する事を目的とした。

八時三十分学校前を二台のロマンス車に乗り参加者九五名でした。バスは勝山八号線を東へと行き丸岡城を後にして平泉寺にお参りして三十分程バスにゆられながら目的の勝山成器南小学校に着いた。

校長先生の案内にて家庭科室に通された。生徒数千名教員二五名で大きい学校である。この学校のPTAは本年度文部大臣より表彰されたので私も何が教えられる点があるのかと思ったがPTAの行事内容は私等学校の愛護会と程よく同じ活動だと、私は思った。会員が大勢いるが少いかと言う点だ　二三よい所もあるが特に私は感心したのは学校内の教育設備の整っている事に驚いた。特に理工科の備品は整っていた。又特別教室もあって知能指数の特に低いが八名程に席を設いた教室に先生が子供と共に色紙のはり付をやっている教室内の備品は全部整っている。校長先生はこの教室は学校内で一番条件のそろった教室であるといっておられた。

子供は楽しいそうに勉強をしているのを見て私も恵まれた子供だと思って来た。

福井県内に特別な指導して居る学校は小中合せて二十五ヶ所しかないらしい。芦原町には各学校に特別に教える教室はないらしい。そういう生徒がいなければ必要はないが……

学校内を二時間程見学して午後は京福電鉄が経営している小舟渡の小高い山の上に近代的な建物のかまぶろ温泉に慰労し湯に入るやら演芸を見たりして夕方の五時頃帰宅した。

優良校視察記

副会長　西正喜代子

秋晴れの一日新郷母親学級の私達をのせたバスは優良校視察のため　勝山成器南小学校へ向って出発した

車の人となった私達は日頃のつかれもどこかへ飛んで行きさ　ガイドの話も耳に入らず友と話合う楽しいうちにも平泉寺につき御宮にお詣りを終えて目的の成器南小学校へ間もなく着いた。

学校では丁重にもてなしていただき二人一人に座布とん湯呑用意してありなんと気持の良い学校だろうと思いました

校長先生のお話の中にも此の「学校では明るく楽しく学習にと云う事で学んで居る」との事、学校全体が明るい様な感じが致しました。

視察を終って玄関に来て見ると先に出た人がスリッパをぬぎ捨にしてあるのを見て少しさびしい気が致しました。

この様な事はもう少し気をつけたら良いのではないかと思います。

第十二回全国学校図書館大会に参加

校長　西川八太郎

一、とき　十月四・五日
二、ところ　新潟市
三、ひと　約二千五百名　福井県人十七名（坂井二名）
四、観光　佐渡島　十月五日午后　十月六日終日

車窓からの景観地理を味わいたさに十月三日午前三時十二分福井駅発新潟行で乗車　午后四時　定刻より三十分遅れて、新潟駅に到着しました。

台風の爪跡は各県とも同程度でしたが工場、農事・特味わえて、とても有益でした

夜は指定の梅寿ホテルに宿泊（福井県・三重県）同夜は三重県の佐藤貢先生が来訪されて下さったのにはとても感激しました。

昭和三十一年福大での第一回司書講習の講師先生であったのです。西川という一かけらの者を忘れておられずに訪ねて下さったその御心が嬉しかったのでした。誠意のある所　人間関係はこまやかに結ばれつづくものである。

十月四日午前
第一部会第二分科会に参加
（学校図書館行政　管理　運用）　県立高校講師　玉川大学室伏　武先生御指導

十月四日午后
第四部会第四分科会に参加
（理科と学校図書館）
実践発表を中心に研究討議

十月五日午前
第一部会第二分科会に参加
県立高校指導　文部省の井沢純毅

十月五日午后閉会

観光　新潟（一三三〇）―両津（一六）
十月六日
相川‖佐渡金山‖尖閣湾‖相川‖八幡‖佐渡博物館‖真野御陵‖真野宮‖妙宣寺‖寺本寺‖両津～～～新潟解散

お陰様で半分研修半分観光をさせて戴けた事を衷心から感謝して居ります　地理歴史に興味のある方々にはとても喜ばれる有難い観光の地だと存じます

人生のひとこまに　こんなこともあってよいと信じます

そして広い豊かな気持で斯道に精励することも肝要と存じます

尖閣湾
金北山
1173m
両津港
金山
相川
真野御陵
（順徳帝）
○金銀山
○伝説
○風俗
○民芸能
○其他

父兄の声

河南一父兄より

自分の子供を学校に出してみて　始めて子供の小さい時の家庭教育がいかに重大であるかという事がつくづく感ぜられます

今迄そのような事はなかったが時々思ってはいたがそれ程でもなかった。そして何という事もなく学校に子供がやっかいになる様になってしまった

はなはだ無責任な親で子供が大きくなったらなんという事であろう。

今迄他の同年齢の子供と比較はしてみた。しかし現在のような事はなかった。今はどうであろう　一事が万事他の子供と比較して考えるようになった。環境がそうさせるのかも知れない。

色々の事が気になってくる

特に私共の子供の場合　静かに考えてみると　今までの家庭での不備　あらが見えてしかたがない　非常にこうかいしている

子供が無邪気に遊んでいるこの姿を唯なんとなく見ている時　今のべたような事が頭の中をかけめぐってくる。

子供の教育はむづかしい。それを学校に行って　自分の今迄の家庭教育をたなにあげて、先生に自分の子供はなぜこんなのでしょう　という。先生はお笑い下さる事でしょう。時々家で子供の事にふれる事があると、きまって最後にはお前に悪いところだけ似た。自分に似た。しかたがない。と結論を出してしまう。これに至っては非常に無責任の限りであろう。しかしいつもその様な事になってしまう

子供はいつもわれわれの生活を・みている。我々の事をいつの間にか子供のものとして身につけてしまう。

親に似たい子供ができればそれは何かの間違いである。子は親に似るのが当前である　この様な事を考えるとのんびりかまえてはいられない。

子供は可愛い。目でみつめている。子供のよい手本となるよう心掛けねばならない。

おしらせ

■文芸部より　今年度も例年通り展示会を開催する事になり昨年度以上盛大になります様　各位の御出品をお願いします

作品は明年一月十日頃文芸員が集めに参りますから準備しておいて下さい　出品は自分ですが例をあげますと習字、図画　工作・手芸　など

■補導部より

冬休みの補導について留意点

1 午前中に学習させテレビラジオの視聴はさける
2 夜間のテレビ視聴は八時迄
3 夜廻りは天候を考えて行う
4 映画は父兄同伴で
5 正月の小遣は百円迄3年以上は記帳させる
6 家事の手伝いもさせる
7 交通安全に注意
8 冬期衛生について、マスク着用等

⑭

39
×14
156
39
546

47
×14
188
47
658

20

25

生活の窓

子供部屋について

小木　藤八郎

学令前の子供の一日の生活はまず遊びによって始められ　遊びを通じて豊かな創造性が養われ自己を知り他を知って成長して行く　子供の自主的な活動が行われる。

学令期の子供はさらに学校に行き　予習　復習する勉強の時間が加わって　子供の生活から遊びの時間がだんだん少なくなって勉強の時間が増えてきますと共に　子供に関係ある家の中の備品も変って　固定した子供の場所の必要性となり　親達に子供部屋或は勉強部屋を要求する様になるものと思います

日本の住宅は一般に個室が無く　農家はなおさら家長中心主義で家長も嫁の寝室のみ確保されているに過ぎない。当前子供の勉強場など別に設けられ様とはしない。

戦後にはや、改良のきざしが見えはじめ　縁側の隅に勉強机がおかれたり或は納戸等一部改造して子供部屋を設備した農家が多くなった事はよろこばしいことです。

子供の素直な独自性や創造性は子供達が自分自身の自由な世界（部屋）を持って両親が子供の成長を暖かく見守る所　養われるものと思われます　とにかく、子供部屋の計画はとりもなおさず、身近な問題だと思いますので　日常住宅設計にたずさわって私が気づいた点を申しあげ　住宅の新築　又　改造模様替に参考になれば幸いだと思います

一、子供部屋の配置及平面計画

子供の生活と成長段階との相互関係を考慮する事

学令前　低学年は一階で母親の家事室や台所に近く細かい干渉が出来る南側の明るい場所　高学年は一階又は二階に計画しても良いと思います　部屋内部は出来得るかぎりこまかく仕切らず動く壁（本棚　スクリーン　カーテン等）で仕切って一つの部屋を二つの個室にしそれぞれ自分の領分を確保できる様にし　友達が来た時　その仕切りを取って一部屋にして広く使い　又夜の休息と昼の活動的な生活部分を分けて兄弟　姉妹が共通に使うことも出来　又子供の成長と共に部屋も成長するように考えておいた程良いと思う

窓は通風の便を考へ出来得たら双対壁に窓を設けたい。

一、壁面色調及壁面利用設備

部屋の色調は快活で明るいもの（子供の好みや傾向を理解した上で決めたい）

子供がいたづら書の出来る壁面作り　黒板、キャンバスを吊るか張り又掲示板も必要です。

一、家具類

子供の大切なオモチャやガラクタ類は創作意欲を盛りとするものでその整理棚　更衣ロッカー　寝具入戸棚　ベット類　以上は部屋の中に出さない様に統一して作り付が良い。机　椅子　机は成長する時代ですから調節が自由なものか　又転用性を選ぶ事

一、室内の電灯設備と照度

室内灯は一坪当り20W以上

ベット用照明　蛍光灯10W

差込み　コンセント　二ヶ所（スタンド用及ラジオ用）

色々な事さ　のべましたが、子供の心身の発達にともなう成長と変化を両親があたたかく見守る　愛情によって設備も各々個性にあったものを備えてあげることが大切なものですから、何をえらんでも使用中の維持と管理が十分にできるものにしたいものです。

時価四千五百万円の黄金香水処理場に着工

三国　金津　芦原の三町人口は約五万四千人　この人々が毎日生理現象で排出する黄金香水は約二八キロリットル（一四六〇〇メ）と推定される

三町は観光施設に恵まれているので　最近の観光ブームによる日々の町外在泊者も加えれば更にその量は多くなるのではないのだろうか　この一日の黄金香水量を金肥に換算すると硫安で七二九瓩　過燐酸石灰で一八三瓩　塩化加里で七四瓩という肥料成分を持っているので　これを適度に用うれば作物の成長に大いに役立つわけである。

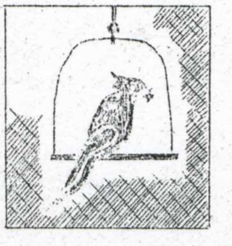
然しながら　市街地に於けるこれらの物は衛生組合のタンク車につめ込んで何処かに投げすてられる場合が最近多くなり　あちこちで問題になりだした

特に冬季降雪期になると車の足をとられてしまう為に橋の上から川の中え、山林の道端に田圃の中に人目を盗んで捨てられる為にこの中に含まれる一、五%という可溶性塩分の為に山の木を枯らし　田圃に捨てられた場合は二年間は全く不毛の地と化してしまう事になる。

諺の如く「過ぎたるは及ばざるが如し」である

環境衛生のやかましい折　観光地としても法律的にその処理施設を担当する町当局としては三町が相寄って協議の結果　北本堂が明治四十三年に竹田川の湾曲部を切落して島となり取残されている原野地帯に三町し尿処理工場を工費四千五百万円で着工することとなり去る十一月二十七日に起工式が挙げられた　工事は大正コンクリートKKの手により三十六　三十七の二ヶ年にわたり最も新しい浄化装置による方式のもので一日当りの処理能力は二十六キロリットルのものといわれるからその能力は農村部のものも一応全部処理する能力があるものである。

（小西）



母親学級によせて

角屋の一会員

十一月の母親学級の時の小島さんの「躾について」良いお話をお聞き戴いて感謝致しております

でもお話中にお母様方の中から話声がしました事を残念に思っております。たとえどの様なお話でありましても一月一回の母親学級のお話ですから熱心に聞きたいものです。

子供の勉強へ知能学力こだけを知る為に来る母親学級ではないと思います

母親として子供に負けずに新しい時代の流れと共に学ばんが為だと思います　我子をはっきりと見る目を持ち　そして良き理解者となって共に学んで行ける親になりたいものです

過日の泉先生のお話に「おや」と子に思われる親が本当の親で産むだけが親ではない　産んで大きくするだけならば畜生だって出来るとおっしゃいました　人の親としての教養を身につけたいものです

私達も出来るだけ多く学級に出席しまして諸先生方を始め皆様方の御指導をお願いして今後一層学んでいきたいと思います

秋草に　宿りトンボ　身をぬらし

山茶花の　花咲く頃の　年の暮

学校ニュース

※模型飛行機大会に五年優勝

去る十月芦原小学校に於いて開かれた　芦原部小学校模型飛行機大会に於いて　本校五六年代表は次のような成績を得た

○五年の部

団体──優勝

個人──一位　青木千代美

○六年の部

団体──次勝

個人──一位　山田小夜子

三位　青木　雅史

※県商工会珠算検定に二十六名合格

去る十月二十日芦原小学校で開かれた福井県商工会珠算検定の合格が先頃発表された　本校関係分左記の通り

八級　高島　戎当

七級　竜田　公明、中島　実

小西　徳幸、高戸　貞子

堂島　咲子、白崎洋恵子

藤崎　優子　川畑　秀子

六級　三上　謙一　坪田　清孝

森崎　春実　三上美知代

高橋　利男　青木　晴美

林　真由美　青木利与三

五級　三上　誠一　斉藤　宗幸

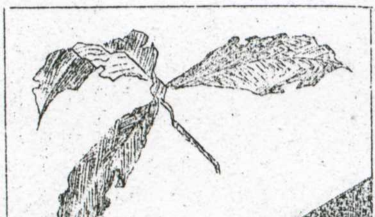
青木千代美　斉藤なよみ

斉藤　絹子　敷野いつ子

三上　耕治　柿田　秀行

高戸　妙子　小西　敏夫

※夏冬の廃品回収で図書館の本を購入

八日皆さんの家から非常にたくさんの廃品を出していただき、早速三国町夏山商店に売りましたところ　総額一万四千四百四十四円に上り早速これの使途を研究　図書室の図書購入にあてる事に決定、図書係の先生をわずらわして目下充実中。